

令和3年度

事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

総務常任委員会関係

企画政策部

○事業別決算説明について

1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。

2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和3年度事業が令和4年度に複数の課に分割された場合は、令和4年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和3年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和4年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和3年度事業費(●●課) 48,000千円



令和3年度事業費(令和4年度○○○○課) 36,000千円
 令和3年度事業費(令和4年度△△△△課) 12,000千円

※令和3年度と令和4年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和4年度の所管課を作成してあります。

記入例 : 令和3年度は●●課で実施した事業が
 令和4年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和3年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和3年度所管は●●課)
事 業 名			
予算現額	執行額	執行額の財源内訳	
		国庫支出金	県支出金
		市 債	そ の 他
		一般財源	
36,000 【48,000】			
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳	
		事業費節減	事業未実施
		入札差金	そ の 他

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
 該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
 該当数値なし : 空白

(単位：千円)

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	土地利用対策費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
562	465		264			201
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	97				97	

【目的】

上越市大規模開発行為の適正化に関する条例や国土利用計画法に基づく土地取引の届出制度を通じて、第6次総合計画の土地利用構想や市の各種計画に適合した土地利用を推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・上越市大規模開発行為の適正化に関する条例に基づき、市内の大規模な土地利用を審査し、第6次総合計画を始めとする市の各種計画や関係法令に適合した土地利用を推進する。
- ・国土利用計画法に基づく土地取引の届出制度を通じて、市内の大規模な土地取引情報を把握するとともに、第6次総合計画を始めとする市の各種計画や関係法令に適合した土地利用を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市大規模開発行為の適正化に関する条例の運用
条例に基づく大規模開発行為に係る開発協定の締結件数：0件

<開発協定の締結件数>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
締結件数	0件	0件	1件	2件	1件	0件
開発内容	-	-	土採取	土採取	宅地の造成	-

- ・国土利用計画法に基づく土地売買等届出書の審査(県経由事務)
土地売買等届出書を審査し、市の意見を付して県に提出した。
届出件数：41件

<土地売買等の届出件数>

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
届出件数	23件	60件	79件	41件	64件	41件

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	土地利用対策費		

- ・新潟県大規模開発行為の適正化対策要綱に係る協議書の受付（県経由事務）
協議書の受付件数：0件

○目標達成状況

国土利用計画法に基づく大規模な土地取引に係る届出 41 件について、市の意見を付して、県に送付し、県から届出者に対して市の各種計画等との整合性を踏まえた指導が行われ、適正な土地利用が推進された。

【事業の成果】

市内における土地取引について適正に審査を行い、関係法令や市の各種計画等に適合した土地利用を推進することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

国土利用計画法で規定された土地売買等の届出期限を超えた違反事案が 6 件あったことから、引き続き広報上越や市ホームページを通じて適切な土地取引が行われるよう周知を図る。

【執行残額について】

その他：上越市大規模開発行為審議会に諮るべき案件がなく、会議を開催しなかったことによる報酬及び旅費の残ほか 97

(単位：千円)

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	企画調整費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
68,983	66,781	29,243			14,370 (寄附金)	23,168
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,202	388		5	1,809	

【目的】

- 企画調整費（庶務関係）：国、県、関係自治体及び関係機関と連携を図りながら、要望活動などを通じ、市の施策や事業の実現を目指す。
- 重要施策企画調整事業：まちづくりの総合的な指針となる総合計画に基づく政策・施策を展開するとともに、総合戦略を踏まえた地方創生の取組を促進する。また、各種制度や事業等に関する情報収集、調査研究を行うとともに、市の重要施策の企画、立案及び総合調整を行う。
- 次期総合計画策定事業：現行の第6次総合計画が、令和4年度に最終年度を迎えることを踏まえ、令和5年度を計画の初年度とする、当市のまちづくりの総合的な指針となる第7次総合計画を策定する。
- 域学連携推進事業：大学が持っている知見や学生の活動を地域の課題解決やまちづくりにいかすことで、地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■企画調整費（庶務関係） 1,529

○令和3年度目標

国、県、関係自治体及び関係機関との連携や調整を図りながら、当市が抱える諸課題の早期解決及び改善に向けた要望や提言を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・国の概算要求及び財務省内示の時宜を捉え、国の制度・予算に対する市単独の中央要望を2回実施したほか、北信越市長会を通じて全国市長会より提言を行った。
- ・県の制度・予算に対する市単独の県要望を実施したほか、県市長会等を通じて要望を行った。
- ・市内官公長連絡協議会を開催し、関係機関と情報の共有・交換を行った。

○目標達成状況

国や県への要望活動について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を考慮し、要望書を送付するなど、要望方法を一部変更して実施した。

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	企画調整費		

■重要施策企画調整事業 63,983

○令和3年度目標

- ・第6次総合計画に掲げた将来都市像のすこやかなまちの実現に向けて、後期基本計画に基づく取組を着実に推進する。
- ・「産・官・学・金・労・民」の連携・協働により、第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進する。
- ・重要施策の企画・立案に必要な調査研究、情報収集等を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・第6次総合計画の着実な推進に向け、各施策・事業の進捗を確認するとともに、課題を把握し、新規事業の創出と既存事業の見直しを行った。
- ・第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「第2期総合戦略」）に位置付けた民間団体等の取組について、SNS等を通じて情報を発信するとともに、地方創生推進事業補助金による支援を6団体9事業に対して行った。
- ・次代を担う若者人材の発掘・育成と若い世代の交流を促進するため、イベント開催に向けた企画運営のノウハウを習得するための研修会を4回開催した。
- ・若い世代の「ふるさと上越市」に対する理解と愛着を深めるため、高校生が当市の魅力を伝えるPR映像コンテストを開催した。
- ・高校生や当市出身で市外に居住する子育て世帯等の将来的なUターンに向けた関心を高めるため、SNSを活用して当市の魅力や子育て環境、仕事に関する情報発信に取り組んだ。
- ・官民が連携して組織した実行委員会による「なおえつ うみまちアート」の開催を支援し、直江津の歴史や文化、風土等をいかした作品の展示を通じて、地域住民と来訪者との出会いや交流の促進に取り組んだ。

○目標達成状況

- ・第6次総合計画に基づく施策・事業は、おおむね計画どおり進捗した。また、計画の更なる推進を図り、「暮らしやすく、希望あふれるまち」を実現するため、必要な新規・拡充事業を検討し、令和4年度予算に反映した。
- ・若者によるイベントの開催や研修を通じて、まちづくりに参画する機運を高めるとともに、当市の魅力を伝える動画の制作やSNSによる各種の情報発信により、若い世代の「ふるさと上越市」に対する愛着の醸成を図った。
- ・「なおえつ うみまちアート」は新型コロナウイルス感染症の影響により、市外への積極的なPRは実施できなかったものの、各会場に延べ2.2万人の来場があり、直江津地区の賑わいの創出を図ることができた。

■次期総合計画策定事業 1,229

○令和3年度目標

第7次総合計画の策定の基礎資料として、市民の声アンケートにより、市民生活の実情や市民ニーズを把握する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・無作為に抽出した18歳以上の市民5,000人を対象に、市民の声アンケートを実施し、2,271件（回答率45.42%）の回答を得た。

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	企画調整費		

- ・実施に当たっては、回答者の利便性向上のため、郵送に加えてウェブサイトからの回答を可能としたことで、前回調査（回答率43.36%）を上回る数の回答が得られた。

○目標達成状況

市民の声アンケートの実施により、生活実態・実感や市の取組に対する満足度・重要度などを把握するとともに、市民意識の変化を分析することができた。

■域学連携推進事業 40

○令和3年度目標

大学と地域の連携による課題解決・まちづくりの新たな取組を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・大学の専門知識や学生の活力・アイデアをまちづくりにいかすため、市内で行われた域学連携の取組状況について調査を行った。
- ・大学が主催する研究成果発表会等に参加し、連携に向けた情報収集を行った。
- ・月影の郷の支援強化に向けたワークショップ（浦川原区）と、将来の農業生産活動・体制の維持・継続に向けた方策等を話し合うフューチャーデザイン方式のワークショップ（浦川原区）を行った。

○目標達成状況

浦川原区において、大学と地域が連携した取組を新たに開始した。

【事業の成果】

- ・時宜を捉えた国や県への要望活動の実施により、道路や河川事業等の進捗が図られた。
- ・第6次総合計画について、各施策・事業の進捗や課題を踏まえ、新規事業の創出や既存事業の見直しを通じて、更なる推進につなげることができた。
- ・上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会に参加する民間団体等の取組事業を支援することで、地域を挙げた地方創生の取組を推進することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

人口減少社会においても持続可能なまちを形成していくことに向け、第6次総合計画及び第2期総合戦略に基づく取組を着実に推進するとともに、現在策定を進めている第7次総合計画においても、2040年における「理想とする姿」を描きつつ、人口減少対策に資する取組を検討していく必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：市民の声アンケート調査において、ウェブ回答の導入等による集計作業の効率化に伴う人件費・郵便料等の残 388

入札差金：委託料 5

その他：新型コロナウイルス感染症の影響により要望や協議等の実施方法を変更したことによる旅費等の残 1,430

補助金の実績が当初見込みを下回ったことによる残 254

事業実施に伴う郵便料等の端数残ほか 125

(単位：千円)

決算書 (P136～P137)	2款1項7目 企画費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
74,650	74,455	35,921		33,300	5,234 (繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	195				195	

【目的】

市民による歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進し、地域に対する誇りと愛着の涵養を図るとともに、歴史的建造物の保存と活用に向けた取組などを通して、地域の活性化と文化の振興を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

◇令和2年度繰越明許分(旧今井染物屋)

令和3年1月の大雪に伴い、作業工程に遅れが生じたことから、関係経費の一部を令和3年度に繰り越し、耐震改修工事等を実施した。

- ・委託料(施工監理委託料、報告書作成業務委託料、運搬委託料、織機移設調整委託料)
- ・工事請負費(耐震改修工事、駐車場整備工事)

【事業の成果】

市文化財の旧今井染物屋を、地域文化の継承と発信を行う拠点として整備することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

旧今井染物屋を地域文化の継承と発信を行う拠点として活用するとともに、市文化財として適切に保存していく。

【執行残額について】

その他：工事請負費が見込みを下回ったことによる残 195



旧今井染物屋 耐震改修工事



旧今井染物屋 駐車場整備工事

(単位：千円)

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	新幹線整備促進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,866	12,612					12,612
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,254	82	35	119	1,018	

【目的】

- 新幹線まちづくり推進事業：北陸新幹線をまちの力として取り込むことにより、第6次総合計画で設定した市政運営のテーマである「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現を図るとともに、広域の玄関口である上越妙高駅周辺地区のまちなみ形成に向けた取組を推進する。
- 北陸新幹線の整備促進に向けた協議会の活動など：北陸新幹線の早期全線開通と県内駅の利便性向上に向け、沿線自治体との連携の下、関係団体に対する要望活動等を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■新幹線まちづくり推進事業 12,372

○令和3年度目標

- ・北陸新幹線をいかしたまちづくりを推進するとともに、北陸新幹線上越妙高駅の利用促進を図る。
- ・各種補助制度の運用により上越妙高駅周辺への企業進出を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越妙高駅利用啓発事業

令和5年度末の北陸新幹線敦賀延伸に向け、延伸による時間短縮効果等の利便性を市ホームページで発信するとともに、上越商工会議所を通じて市内企業に出張時の新幹線利用についてのPRを実施した。

(2) 上越妙高駅イルミネーション事業

上越総合技術高等学校の協力を得て、上越妙高駅東口においてイルミネーション事業を実施した。

<実施概要>

点灯期間：令和3年11月19日(金)～令和4年3月14日(月)

点灯時間：午後5時～11時

設置内容：上越妙高駅東口の樹木13本にイルミネーションを設置したほか、上越妙高駅お出迎えキャラクター「ウェルモ」型イルミネーション2体を設置した。

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	新幹線整備促進費		

(3) 上越妙高駅周辺地区商業地域への企業進出支援

- ・当市と所縁のある方を中心に企業訪問（4社）やWebによる面談（4社）を実施したほか、各種補助制度の周知・運用による企業進出の促進や支援、土地の利活用の見通し等の情報収集を行った。
- ・各種補助制度は、民間企業の早期進出に向け、使用収益開始から5年以内の営業開始を認定要件としており、令和4年度末に期限を迎えることとなるため、現在事業を計画している事業者から見通し等の情報収集を行った。

<利用実績>

区 分	件 数	金 額
企業設置等奨励金（平成25年度制定）	1件	651
建築資金借入利子前払事業補助金（平成28年度制定）	1件	9,197
レンタルオフィス・サポート事業補助金（平成28年度制定）	4件	1,550

○目標達成状況

- ・上越妙高駅の利用者数は、利用啓発事業や上越妙高駅イルミネーション事業等により利用促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の拡大以前の水準には回復していない。
- ・上越妙高駅周辺地区商業地域において飲食店が開業し、利用決定済の土地面積が増加した。

区 分	R3.3.31 (A)	R4.3.31 (B)	比較増減 (B)－(A)
利用決定済の土地	77,655 m ² (80.9%)	79,109 m ² (82.4%)	1,454 m ²
利用を検討中の土地	9,829 m ² (10.2%)	9,456 m ² (9.8%)	△373 m ²
未利用の土地	8,551 m ² (8.9%)	7,470 m ² (7.8%)	△1,081 m ²
合 計	96,035 m ² (100.0%)	96,035 m ² (100.0%)	0 m ²

■北陸新幹線の整備促進に向けた協議会の活動など 240

○令和3年度目標

北陸新幹線の整備状況等に関する情報収集を行うとともに、効果的な要望活動を展開する。また、北陸新幹線の敦賀延伸の1日も早い実現と上越妙高駅への利便性の高い列車の停車実現に向け、各同盟会、協議会等の構成市と連携を強化し、取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 要望活動

当市が参画する北陸新幹線関係都市連絡協議会、北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会、北陸新幹線建設促進同盟会を通じて、北陸新幹線の整備状況等に関する情報を的確に把握するとともに、国やJR（東日本・西日本）に対し要望活動を行った（新型コロナウイルス感染症の感染状況を勘案し、書面により実施）。

(2) 北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会の調査研究活動等

- ・今後の要望活動や、北陸新幹線の利用促進に向けた施策を検討する際の基礎資料として、コロナ禍における北陸新幹線の利用者の動向及び上越妙高駅における乗降状況等の調査を実施した。

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	新幹線整備促進費		

- ・関西の旅行事業者を対象に、「佐渡島の金山」の世界遺産登録や令和5年度末の北陸新幹線敦賀延伸を見据え、関西方面を対象とした利用者増に向けた情報収集やPR活動を実施した。
- ・新潟県アンテナショップ「新潟をこめ」でのPR活動を予定していたが、実施予定時期がまん延防止等重点措置に基づく要請の期間（1月27日～3月21日）と重なり、また、解除直後に集客イベントを行うことが困難であったことから、令和4年度に延期することとした。
- ・北陸新幹線関係都市連絡協議会の会長として、会員市の意見を取りまとめ、北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会との意見交換会（Web開催）を実施した。

○目標達成状況

- ・要望活動について、北陸新幹線の敦賀までの確実な開業と大阪までの全線の早期整備、上越妙高駅への利便性の高い列車の停車実現のほか、コロナ禍収束後を見据えた利用促進や需要喚起につながる施策の推進について、国やJRに対して要望を行った。
- ・関西PR事業と関西連携事業を通じて、旅行事業者から情報収集し、加盟自治体と情報共有を行った。

【事業の成果】

- ・各種補助制度の運用により、上越妙高駅周辺地区商業地域における土地利用が進み、新たに飲食店が開業したほか、駅西口の商業施設にローカル5G施設が開業し、ローカル5G実証実験が開始されるなど、駅周辺のまちなみ形成を促進することができた。
- ・北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会との意見交換を実施し、関西地域との連携体制構築の契機とすることができた。
- ・北陸新幹線金沢・敦賀間の開業予定が1年遅延したものの、国等への要望活動を行う中で、令和5年度末までの確実な延伸開業に向け、工事の進捗が図られている。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上越妙高駅周辺地区商業地域への進出企業支援制度は、令和4年度で終了する予定であるが、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え企業進出の活性化を図っていく観点、また、同地域へのオフィス設置の希望に対応できるよう民間事業者の進出を促す観点から、本支援制度の今後のあり方を検討する必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、Web会議等も活用し、担当者間の意見交換や情報共有を図り、会員市や他の協議会との連携を強化していく。

【執行残額について】

事業費節減：北陸新幹線関係都市連絡協議会の要望書印刷・製本業務を1回としたことに伴う印刷製本費の残 82
 事業未実施：事業の中止に伴う報償費等の残 35
 入札差金：上越妙高駅イルミネーション設置撤去業務委託料 119
 その他：総会・要望等の書面実施に伴う旅費等の残 1,018

(単位：千円)

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	並行在来線対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
173,857	170,155	103,685		64,300		2,170
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,702				3,702	

【目的】

沿線の関係団体や関係機関と連携し、在来鉄道（えちごトキめき鉄道、ほくほく線、信越本線）の利便性の維持・向上及び利用促進を図るとともに、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に向けた支援を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・市民の通学や通勤、買い物などの移動手段であり、地域経済を支える重要な社会インフラである在来線の安全で安定した運行を維持するため、えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社の経営安定化に資する支援を行う。
- ・運行ダイヤや乗り継ぎなど、利便性や快適性が向上するよう鉄道事業者へ働きかけを行うとともに、県及び関係自治体、鉄道事業者、関係団体と連携して利用促進や沿線交流の活性化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) えちごトキめき鉄道及びほくほく線の利用促進

- ・「ほくほく線 きっぷを撮って得しちゃおう！」企画の実施

定期券や回数券を除く、ほくほく線区間を含む乗車券をスマートフォン等で撮影し、画像を沿線の対象施設に提示することで、施設の入館料割引等のサービス特典を受けることができる企画を沿線自治体とともに支援し、利用促進を図った。

実施期間：令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）

対象施設：25施設（うち市内10施設）

- ・「トキてつ×ほくほく×大糸線 コラボラリー2021」の実施

県や沿線自治体、えちごトキめき鉄道株式会社で構成する「えちごトキめき鉄道活性化協議会」において、えちごトキめき鉄道株式会社と北越急行株式会社が実施した企画を支援し、鉄道の楽しさを感じてもらうとともに、利用促進を図った。

実施期間：令和3年9月17日（金）～11月3日（水・祝）

スタンプ設置駅：日本海ひすいライン1駅、妙高はねうまライン1駅、ほくほく線10駅

JR大糸線1駅（計13駅）

景品引換数：655件

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	並行在来線対策事業		

・「とくべつきっぷでれっしゃにのろう！」企画の実施

県や沿線自治体等で構成する「えちごトキめき鉄道活性化協議会」、「ほくほく線沿線地域振興連絡協議会」、「大糸線活性化協議会」が連携し、幼児専用「とくべつきっぷ」を作成して沿線自治体の幼稚園・保育園等に配布し、利用促進を図った。

実施期間：令和3年10月13日（水）～令和4年3月31日（木）

実施内容：「とくべつきっぷ」を持って乗車した幼児に、各鉄道会社1回限りでノベルティを贈呈（大糸線はえちごトキめき鉄道糸魚川駅で贈呈）

配布枚数：上越市4,066枚（沿線自治体配布 計11,900枚）

引換人数：えちごトキめき鉄道株式会社（大糸線含む）611人、北越急行株式会社116人（計727人）

・「トキテツ・トレイン・フォトギャラリー」の実施

県や沿線自治体、えちごトキめき鉄道株式会社で構成する「えちごトキめき鉄道活性化協議会」において、SNSを活用してえちごトキめき鉄道に関連する写真を募集して採用した写真でポスターを作成し、車内に掲示することでマイレール意識や愛着心の向上を図った。

応募期間：令和4年1月26日（水）～2月13日（日）

応募総数：285点（内15点を採用し、採用者には記念品を贈呈。令和4年7月5日（火）から7月24日（日）にえちごトキめき鉄道車内へのポスター掲示を実施）

(2) えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金

県及び沿線自治体で締結した『『並行在来線への投資・支援スキーム』に関する覚書』に基づき、えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金を交付した。

年度	補助金額	補助金の使途
令和元年度	62,207	き電線張り替え、可動ブラケット取替え、連絡遮断装置取替え、トンネル鋼管下束修繕、電気転てつ機取替え、橋梁ペイント塗り替え、橋梁修繕
令和2年度	59,261	可動ブラケット修繕、トンネル鋼管下束修繕、電気転てつ機取替え、電子踏切制御装置取替え、橋マクラギ交換、橋梁ペイント塗り替え
令和3年度	57,904	き電線張り替え、トンネル鋼管下束修繕、高圧ケーブル修繕、電気転てつ機取替え、電子踏切制御装置取替え、熱風式融雪装置・除じん設備修繕、橋梁ペイント塗り替え

(3) 北越急行安全輸送設備等整備事業補助金

北越急行株式会社の経営安定化に向け、同社が行う国庫補助事業に対して県及び沿線自治体が協調補助を行うスキームに基づき、北越急行安全輸送設備等整備事業補助金を交付した。

年度	補助金額	補助金の使途
令和元年度	5,173	ハンガー更新、碍子更新、レール更新、自動列車停止装置更新、変圧器更新、列車集中制御装置更新、鉄筋コンクリート補強
令和2年度	2,806	碍子更新、レール更新、融雪設備更新、自動列車停止装置更新、変圧器更新、早期地震通報システム更新
令和3年度	7,615	碍子更新、レール更新、融雪設備更新、列車防護無線装置更新、変圧器更新、気象情報システム更新

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	並行在来線対策事業		

(4) 信越本線の利便性向上及び利用促進

- ・国及びJR東日本に対し、上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会や新潟県鉄道整備促進協議会を通じて、優等列車の充実、上越新幹線及び北陸新幹線との接続性確保、悪天候時等における安定輸送の確保など、在来鉄道の利便性向上や利用促進について要望活動を実施した。
- ・JR東日本から、令和4年3月ダイヤ改正において「しらゆき9号」の運転取り止めなどの見直しを行う旨の説明があったことから、上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会において、信越本線における優等列車等の運行本数の維持や、繁忙期に臨時増回運行の対応等について緊急要望を実施した。

(5) 地域鉄道安定経営緊急支援金

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、地域鉄道の安全安心な運行を維持するため、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しているえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対し、県及び沿線自治体と協調して支援を行った。

支援対象者	全体支援額	当市負担額
えちごトキめき鉄道	887,000	77,116
北越急行	344,000	26,569

全体支援額：新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度及び令和3年度における各年度の営業収益と、それ以前の過去3年間（平成29年度～令和元年度）の営業収益の平均を比較し、それぞれの差額を合算したもの

負担割合：県5/6、沿線自治体1/6

※沿線自治体の負担割合は、鉄道各社への出資割合により算出。当市の負担割合は、えちごトキめき鉄道株式会社 52.164%、北越急行株式会社 46.341%

○目標達成状況

- ・妙高はねうまラインでは、土休日運転の快速列車停車駅に春日山駅が追加され、利用者の利便性向上が図られた。
- ・ほくほく線では、犀潟駅発着の一部列車が直江津駅発着となり、乗換不要になったことで利用者の利便性が図られた。
- ・えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社が行う鉄道施設総合安全対策事業等に対し、補助金を交付し、経営安定化を支援した。
- ・駅スタンプラリー等のイベントを通じ、沿線自治体や関係団体と連携して利用促進を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用者の減により、経営面で大きな影響を受けたえちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社に対して県及び沿線自治体と協調して支援を行うことで、地域鉄道の安全安心な運行の維持を図った。

【事業の成果】

- ・えちごトキめき鉄道及びほくほく線については、一部列車の停車駅増や延長運転などにより、利用者の利便性維持・向上を図ることができた。
- ・えちごトキめき鉄道株式会社及び北越急行株式会社が行う鉄道施設総合安全対策事業等や減収分に対し補助金を交付することで、両社の経営安定化と鉄道の安全安定輸送に資することができた。

決算書 (P138～P139)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	並行在来線対策事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道の利用者数が大きく減少していることから、在来鉄道の利用増加とマイレール意識の醸成に向けて、引き続き、鉄道事業者及び県・沿線自治体と連携して利用促進に努めるとともに、利用促進団体等の支援や市民協働による利用促進の取組を推進する。
- ・県及び沿線自治体と連携して、えちごトキめき鉄道株式会社と北越急行株式会社に対し、経営安定化に向けた支援を継続する。また、両鉄道事業者ともに中長期的な経営改善について、依然として課題を抱えていることから、県と沿線自治体及び鉄道会社で組織する「トキ鉄再生協議会」及び「ほくほく線経営改善・活性化協議会」において、抜本的な経営改善や支援の在り方等に関する協議を進めていく。

【執行残額について】

その他：国の内示率の減少に伴い、補助金額が減額となったことによる北越急行安全輸送設備等整備事業補助金の残 3,607
 総会の書面実施等に伴う旅費等の残 95

(単位：千円)

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
490,749	425,337	12,924	26,070		357 (繰入)	385,986
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
45,724	19,688	388		155	19,145	

【目的】

- 上越市地域公共交通活性化協議会負担金：市民ニーズや地域の特性に応じた地域公共交通の充実に向け、市民、交通事業者、行政等が連携・協力し、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。
- バス運行対策費補助金：児童生徒の通学や高齢者の通院など、市民の日常生活を支える重要な交通手段である路線バスや乗合タクシーの運行に対し補助を行い、生活交通を維持・確保する。
- コミュニティバス事業：市営バス停留所を適切に維持管理するとともに、路線バスが廃止となる地域等において、地域と連携して移動手段を確保する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■上越市地域公共交通活性化協議会負担金 2,487

○令和3年度目標

- ・第2次上越市総合公共交通計画に基づき、停留所の新設や通院・買物利用に合わせたダイヤの改正等による利便性向上のほか、路線の重複解消等による効率化など、路線バスの再編・見直しを進める。
- ・路線バスが廃止となる地域において、地域住民の主体的な取組を支援し、住民の移動手段の確保を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 第2次上越市総合公共交通計画に基づくバス路線の再編・見直し

- ・直江津・浦川原線や大池線の停留所の新設、通学・買物利用に合わせたルート及びダイヤの改正などにより利便性の向上を図ったほか、安塚区、清里区等における乗合タクシーや市営バスへの転換、南川線の重複解消などにより運行の効率化を図った。
- ・路線バスが廃止となった地域や路線バスがない地域において、互助による輸送の取組を支援した。

(2) 公共交通の利用促進

- ・北陸新幹線や在来線、路線バスなど市内公共交通の運行時刻や路線図、行政情報をまとめた「公共交通とくらしのガイド」を作成・配布した。また、希望する市民に対して自宅最寄りのバス停や駅から目的地までの鉄道やバスの発着時刻、乗車料金などを記載したマイ時刻表を作成・配布した。

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

- ・運転免許証返納者や高齢者向けに公共交通の割引情報等をまとめたチラシを作成し、警察署や高齢者サロン等で配布した。また、路線バス等に小学生以下50円、中・高校生100円で乗車できる「夏休み『バス乗車体験』キャンペーン」を実施した。

○目標達成状況

- ・第2次上越市総合公共交通計画に基づき作成した具体的な運行ルートやダイヤ等の再編案について、地域住民、地区懇話会等と協議を行うなど、バス路線の再編・見直しを進め、利用者の利便性確保と運行の効率化を図った。
- ・地域で活動する団体の主体的な輸送の取組を支援し、路線バスが廃止となった地域等における住民の移動手段の確保を図った。

■バス運行対策費補助金 397,721

○令和3年度目標

市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期70系統、後期66系統の運行を維持・確保する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) バス運行対策費補助金

- ・市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーの運行を維持・確保するため、バス事業者(5社)及びタクシー事業者(2社)に補助金を交付した。
- ・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減に伴い、欠損額が増加しており、補助金額が増となっている。

(2) バスロケーションシステムの対象路線の拡充

令和2年度に導入した3路線のほか、直江津・浦川原線や宮口線など、通勤・通学利用が多い15路線に追加導入した。

○目標達成状況

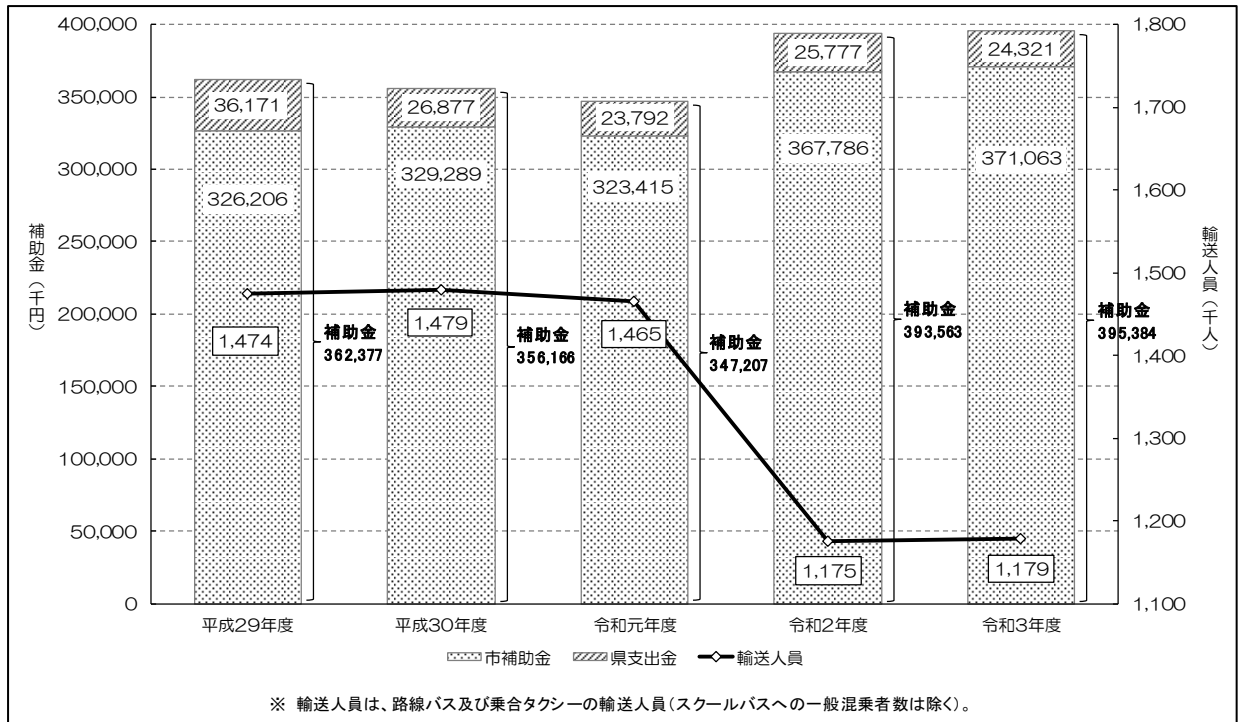
市民の生活交通を確保するため、路線バスの運行経費に対して補助金を交付し、前期70系統、後期66系統を維持した。

<補助区分別系統数及び市補助金額>

路線種別	系統数		補助金額	備考
	前期	後期		
国庫補助路線 (幹線系統)	2	2	48,668	低収益路線の収入不足及び欠損から国庫補助、県協調補助を差し引いた額を負担
国庫補助路線 (フィーダー系統)	10	10	17,116	国補助率：50%
県単独補助路線	10	9	71,306	県補助率：37.5%、40%
市単独補助路線	48	45	257,037	市補助率：100%
バスロケーション システム整備費用 加算分			1,257	
合計	70	66	395,384	

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

<バス運行に関する補助金及び輸送人員の推移>



■コミュニティバス事業 12,205

○令和3年度目標

- ・市営バス停留所及び待合所を適切に維持管理する。
- ・路線バスが廃止となる地域において、市営バスの運行を開始するほか、互助による輸送に対する支援を行い、移手段を確保する。
- ・新たに市営バスを運行する路線等の標準的なバス情報フォーマットを整備し、経路検索サイトで容易にバス情報を入手できるようにする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市営バス停留所の清掃や標識の修繕等の維持管理を行った。
- ・清里区において、路線バスの一部区間を市営バスに転換し、小型の車両としたことで、これまで冬期間運休としていた区間や交通空白地まで区間を拡大し運行した。
- ・路線バスが廃止となった地域等において、互助による輸送の取組を実施する2団体に対し、補助金を交付した。
- ・路線バスから市営バスに転換した牧区、板倉区、清里区において、転換前の路線バスの定期乗車券と同額となるよう乗継定期乗車券を作成・販売した。
- ・新たに運行を開始した市営バスの経路検索を可能にするため、標準的なバス情報フォーマットの作成及び既存路線のデータ修正を行い、経路検索事業者に提供した。

○目標達成状況

- ・令和3年4月から清里区において市営バスの運行を開始したほか、地域で活動する団体の主体的な輸送の取組を支援し、地域における移手段の確保を図った。
- ・市営バスの標準的なバス情報フォーマットを整備し、経路検索サイトで容易にバス情報を入手できるようにした。

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

■タクシー事業者支援事業 6,060

○令和3年度目標

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しているタクシー事業者に対し、保有する車両数に応じて支援を行い、市民の移動手段を維持・確保する。

○実施内容、これまでの経過等

市内タクシー事業者に対し、保有する車両1台当たり30千円を支援した。

支援件数：13件

対象車両数：202台

支援額：6,060千円

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している市内タクシー事業者を支援し、市民の移動手段を維持・確保した。

■県内高速バス路線対策費 6,864

○令和3年度目標

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している県内の高速バスについて、運行事業者を支援し、都市間交通の維持・確保を図る。

○実施内容、これまでの経過等

県内高速バス運行事業者に対し、県及び沿線13市が協調して支援を行った。

全体支援額：122,777千円

※令和3年度(R2.10月～R3.9月)の欠損額245,572千円×支援1/2

負担割合：県1/4、沿線市1/4、事業者が国の補助金を活用1/2

当市負担額：6,864千円

※沿線市の負担額は、路線ごとの支援額を各市バス停の利用者数及び距離による按分により算出。当市の負担割合は、上越線47.13%、糸魚川線27.10%

○目標達成状況

県内高速バスの運行事業者に対し、県及び沿線市と協調して支援を行い、路線の維持・確保が図られた。

【事業の成果】

- ・第2次総合公共交通計画に基づき、各地域のバス路線の再編・見直しを進めるとともに、互助による輸送等の取組への支援を行うなど、市民の日常生活の移動手段の確保と持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取組を進めた。
- ・「公共交通とくらしのガイド」や公共交通の割引情報等をまとめたチラシを作成・配布したほか、バスロケーションシステムの対象路線の拡充やマイ時刻表の作成・配布など、公共交通の利用促進と利便性向上を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している公共交通事業者を支援し、タクシーや高速バスの運行の維持・確保が図られた。

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・バスの利用実態を把握しつつ、地域と協議を重ねながら、引き続き、第2次総合公共交通計画に基づき、市民の日常生活の移動手段の確保と持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取組を進める。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、バスの利用者数は大幅に減少している状況にあるため、引き続き、公共交通の利便性向上など各種利用促進策に取り組んでいく。

【執行残額について】

事業費節減：「公共交通とくらしのガイド」を広告収入により作成したことに伴う負担金の残 388
 入札差金：高齢者向け啓発チラシ、区画線整備工事 155
 その他：国庫補助金が当初見込みを上回ったことによるバス運行対策費補助金の残 17,092
 実績に基づく補助金や委託料等の残 2,053

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

<参考>令和3年度路線別バス運行対策費補助金一覧

【国庫補助路線（地域間幹線系統）】

系統番号	路線名	起点～(主な経由地)～終点	運行回数 (平日)	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
幹1	上越大通り線（本町経由）	上越妙高駅前～市役所・労災病院前～鶴の浜	15.0	257,982.6	1.5	86,718,271
幹2	上越大通り線（新井行き）	中央病院～上越妙高駅前～新井バスターミナル	12.0	130,084.2	1.9	43,726,502
2系統			小計			130,444,773

【国庫補助路線（地域内フィーダー系統）】

系統番号	路線名	起点～(主な経由地)～終点	運行回数 (平日)	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
F1	安塚線	うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	9.0	29,736.0	0.8	7,921,670
F2	島田線	高田駅前～岡原～曾根田	5.0	43,297.0	1.1	13,729,478
F3	佐内・直江津循環線	佐内入口～労災病院前～直江津駅前	4.0	22,420.8	0.4	6,479,611
F4	岡沢ルート（予約運行便）	新井バスターミナル～中郷区総合事務所～岡沢	3.5	-	-	4,264,657
F5	月影・下保倉・未広ルート（1）	谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	10.3	-	-	4,536,675
F6	月影・下保倉・未広ルート（2）	谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	1.0	-	-	348,416
F7	上柿野ルート	うらがわら駅前～上柿野～うらがわら駅前	2.0	-	-	141,141
F8	小麦平ルート	うらがわら駅前～小麦平～うらがわら駅前	2.0	-	-	135,495
F9	真砂線	高田駅前～真砂寺前～三和体育館	4.0	23,787.5	0.8	7,543,016
F10	関山ルート（予約運行便）	新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	3.0	-	-	2,962,069
10系統			小計			48,062,228

【県単補助路線】

系統番号	路線名	起点～(主な経由地)～終点	運行回数 (平日)	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
県1	直江津・浦川原線（1）	マルケハセンター～青野十文字・浦川原小学校前～浦川原バスターミナル	5.0	69,378.2	2.0	23,320,788
県2	南川線（2）	労災病院前～島田～海洋センター前	4.9	39,705.6	1.6	11,474,918
県3	教育大学線（1）	中央病院～教育大学～直江津駅前	5.5	52,669.8	1.6	15,221,572
県4	春日山線・佐内線（1）	直江津駅前～春日山下～中央病院	4.0	38,000.8	1.2	10,982,231
県5	富岡線	高田駅前～富岡・謙信公武道館前～マルケハセンター	7.5	92,730.4	2.3	26,799,085
県6	能生線	能生案内所～名立車庫前～労災病院前	2.0	34,997.2	1.8	10,114,190
県7	宮口線（1）	<前期分> 高田駅前～中央病院・上越モール前～深山荘	5.0	34,612.6	1.5	10,975,655
県8	新井・板倉線（2）	新井バスターミナル～針～板倉コミュニティプラザ前	5.0	15,174.2	2.1	7,316,999
県9	山直海線（2）	柿崎バスターミナル～原之町～村屋	4.0	28,184.1	2.4	11,318,734
県10	犀潟駅線	海洋センター前～犀潟駅前～海洋センター前	3.5	18,588.5	1.3	7,465,141
前期：10系統 後期：9系統			小計			134,989,313

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

【単位：円】

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金① 国→事業者	県補助金② 県→事業者	県補助金③ 県→市→事業者	市補助金④ 市→事業者	市補助金 ③+④	系統 番号
22,175,387	64,542,884	25.5%	14,049,000	0	64,542,884	19,528,500	7,024,000	0	37,990,000	37,990,000	幹1
14,979,414	28,747,088	34.2%	7,304,000	0	28,747,088	9,952,500	3,652,000	0	10,678,000	10,678,000	幹2
37,154,801	93,289,972	28.4%	21,353,000	0	93,289,972	29,481,000	10,676,000	0	48,668,000	48,668,000	

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金① 国→事業者	県補助金② 県→事業者	県補助金③ 県→市→事業者	市補助金④ 市→事業者	市補助金 ③+④	系統 番号
2,420,684	5,500,986	30.5%	5,501,000	0	5,500,986	2,750,000	0	0	2,750,000	2,750,000	F1
3,150,004	10,579,474	22.9%	10,580,000	0	10,579,474	5,290,000	0	0	5,289,000	5,289,000	F2
540,731	5,938,880	8.3%	6,995,000	0	5,938,880	3,497,000	0	0	2,441,000	2,441,000	F3
351,190	3,913,467	8.2%	2,775,000	0	1,759,853	1,387,000	0	0	256,000	256,000	F4
1,084,760	3,451,915	23.9%	1,984,000	0	3,451,915	992,000	0	0	2,459,000	2,459,000	F5
10,813	337,603	3.1%	219,000	0	337,603	109,500	0	0	228,000	228,000	F6
10,786	130,355	7.6%	79,000	0	130,355	39,500	0	0	90,000	90,000	F7
25,837	109,658	19.0%	34,000	0	109,658	17,000	0	0	92,000	92,000	F8
1,389,763	6,153,253	18.4%	6,153,000	0	6,153,253	3,076,000	0	0	3,077,000	3,077,000	F9
269,010	2,693,059	9.0%	2,929,000	0	2,363,828	1,464,000	0	0	434,000	434,000	F10
9,253,578	38,808,650	19.2%	37,249,000	0	36,325,805	18,622,000	0	0	17,116,000	17,116,000	

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金① 国→事業者	県補助金② 県→事業者	県補助金③ 県→市→事業者	市補助金④ 市→事業者	市補助金 ③+④	系統 番号
8,397,353	14,923,435	36.0%	0	12,670,000	9,987,870	0	0	4,751,000	5,236,000	9,987,000	県1
4,022,093	7,452,825	35.0%	0	7,201,000	6,499,891	0	0	2,700,000	3,799,000	6,499,000	県2
4,939,558	10,282,014	32.4%	0	8,890,000	9,017,939	0	0	3,333,000	5,684,000	9,017,000	県3
2,905,331	8,076,900	26.4%	0	7,060,000	7,164,881	0	0	2,647,000	4,517,000	7,164,000	県4
13,075,921	13,723,164	48.7%	0	7,313,000	11,497,635	0	0	2,925,000	8,572,000	11,497,000	県5
2,859,162	7,255,028	28.2%	0	6,712,000	6,415,096	0	0	1,781,000	2,475,000	4,256,000	県6
2,859,060	8,116,595	26.0%	0	8,200,000	8,116,595	0	0	2,461,000	5,655,000	8,116,000	県7
2,781,794	4,535,205	38.0%	0	2,448,000	4,535,205	0	0	496,000	1,903,000	2,399,000	県8
4,107,645	7,211,089	36.2%	0	6,570,000	7,211,089	0	0	1,983,000	5,228,000	7,211,000	県9
2,304,265	5,160,876	30.8%	0	3,319,000	5,160,876	0	0	1,244,000	3,916,000	5,160,000	県10
48,252,182	86,737,131	35.7%	0	70,383,000	75,607,077	0	0	24,321,000	46,985,000	71,306,000	

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

【市単補助路線】

系統番号	路線名	起点～(主な経由地)～終点	運行回数 (平日)	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
市1	浜線	鵜の浜～柿崎病院前～柿崎バスターミナル	7.0	40,017.0	0.2	13,451,314
市2	名立線	労災病院前～うみてらす名立前～コミュニティプラザ前	3.0	38,430.6	0.5	11,106,443
市3	黒岩線(1)	柿崎バスターミナル～米山寺～黒岩	2.0	6,621.1	0.2	2,659,033
市4	黒岩線(2)	柿崎バスターミナル～米山寺・下灰庭～黒岩	3.0	10,035.3	0.5	4,030,176
市5	直江津・浦川原線(2)	保倉川橋～青野十文字～マルケハセンター	2.0	20,653.5	0.7	6,942,467
市6	大平線(1)	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島コミュニティプラザ前	3.0	16,416.0	0.5	4,373,222
市7	大平線(2)	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	2.0	7,488.0	0.4	1,994,803
市8	吉川西部循環線(くびき駅経由)	吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前	4.0	18,946.5	1.1	7,608,914
市9	吉川西部循環線(上下浜駅経由)	吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前	4.0	18,284.2	4.3	7,342,934
市10	清里線(下稲塚経由) <前期分>	高田駅前～中央病院・下稲塚～清里区総合事務所前	1.0	6,709.5	1.2	2,127,582
市11	清里線(下稲塚経由) <後期分>	高田駅前～中央病院・下稲塚～清里区総合事務所前	1.0	5,343.6	1.6	1,694,455
市12	清里線(松野木経由) <前期分>	高田駅前～中央病院・松野木～青柳	1.0	8,646.2	1.4	2,741,710
市13	清里線(松野木経由) <後期分>	高田駅前～中央病院・松野木～清里区総合事務所前	1.0	7,356.6	1.3	2,332,777
市14	南川線(1)	労災病院前～市村～海洋センター前～頸城中学校前	4.8	32,620.0	2.1	9,427,180
市15	教育大学線(2)	上越モール前～教育大学～直江津駅前	3.0	32,281.8	1.0	9,329,440
市16	春日山線(2)	直江津駅前～春日山下～悠久の里前	4.0	38,014.3	1.7	10,986,132
市17	春日山・佐内線(3)	佐内入口～春日山下～中央病院・悠久の里前	2.0	27,352.0	1.1	7,904,728
市18	宮口線(1) <後期分>	高田駅前～中央病院・上越モール前～牧地区公民館前	5.0	21,320.2	1.7	6,760,635
市19	高田・浦川原線(2)	高田駅前～番町～三和区総合事務所前	0.5	2,760.8	1.9	875,449
市20	清里線(3) <前期のみ>	高田駅前～下稲塚～赤池	3.5	16,330.5	1.3	5,178,401
市21	上関田線 <前期のみ>	板倉中学校～上関田	6.5	12,610.5	0.4	6,080,783
市22	山寺薬師線 <前期のみ>	板倉中学校～山寺薬師	7.0	12,264.0	0.4	5,913,700
市23	新井・板倉線(1)	けいなん病院前～針～板倉コミュニティプラザ前	6.3	23,686.6	1.0	11,421,678
市24	山直海線(1)	柿崎バスターミナル～村屋～尾神	5.0	49,665.3	1.1	19,945,584
市25	泉谷・勝穂循環線(1)	原之町～後生寺～吉川小	5.0	21,155.0	1.3	8,495,848
市26	黒井駅線	海洋センター前～黒井駅前～海洋センター前	3.5	26,146.6	1.2	10,500,474
市27	柳町線	海洋センター前～柳町～海洋センター前	3.0	10,446.4	1.9	4,195,274
市28	山麓線	直江津駅前～医療センター病院～上越妙高駅前	3.0	20,140.5	0.9	5,820,604
市29	謙信公大通り循環線	春日山駅前～上越総合病院～春日山駅前	6.0	22,401.1	0.6	6,473,917
市30	春日山駅・アルカディアシャトル便	春日山駅前～リージョンプラザ～上越総合病院	0.0	12,882.0	0.8	3,722,898
市31	謙信公大通り線	直江津ショッピングセンター前～国府新町～上越総合病院	1.5	2,590.4	0.8	748,625
市32	桑取線	労災病院前～有間川橋～くわどり湯つたり村	5.0	73,584.3	1.2	21,265,862
市33	直江津・浦川原線(3)	マルケハセンター～労災病院前～浦川原バスターミナル	2.0	20,593.6	0.9	6,922,332
市34	宮口線(2) <前期分>	高田駅前～中央病院・上越モール前～牧小学校前	5.0	23,106.5	1.7	7,327,071
市35	宮口線(2) <後期分>	高田駅前～中央病院・上越モール前～牧小学校前	3.5	24,282.3	1.4	7,699,917
市36	清里線(1) <前期分>	高田駅前～下稲塚～青柳	3.0	13,017.5	1.2	4,127,849
市37	清里線(1) <後期分>	高田駅前～下稲塚～清里区総合事務所前	4.0	12,604.8	1.8	3,996,982
市38	清里線(2) <前期分>	高田駅前～松野木～青柳	2.5	15,964.7	1.6	5,062,406
市39	清里線(2) <後期分>	高田駅前～松野木～清里区総合事務所前	3.0	15,486.6	1.5	4,910,800
市40	高田・浦川原線(1)	高田駅前～番町～浦川原バスターミナル	6.0	91,839.0	1.1	29,122,146
市41	増田線	高田駅前～横曽根～くびき駅前	3.0	27,113.0	0.9	8,597,532
市42	斐太線	新井バスターミナル～飛田～高田駅前	3.0	17,421.6	0.3	5,524,389
市43	正善寺線	大手町十字路口・西城病院前～下正善寺～上正善寺	4.0	16,374.4	0.6	5,192,322
市44	青田線	高田駅前～中田原～青田	3.0	10,710.0	0.4	3,396,141
市45	菰立線 <前期のみ>	板倉中学校～菰立	6.5	7,133.5	0.3	3,439,773
市46	三針線	板倉コミュニティプラザ前～下稲塚～清里区総合事務所前	4.8	5,846.4	0.5	2,819,134
市47	泉谷・勝穂循環線(2)	原之町～平等寺～原之町	2.0	7,457.5	0.1	2,994,932
市48	くびき駅線	海洋センター前～くびき駅～海洋センター前	3.5	21,103.0	0.7	8,474,964
市49	上直海線	柿崎バスターミナル～上直海～柿崎バスターミナル	2.0	627.5	1.2	252,004
市50	柿崎・森本線 <前期のみ>	柿崎バスターミナル～長峰～森本	4.0	8,980.0	0.2	3,606,368
市51	水野線	柿崎バスターミナル～米山寺～水野	2.8	8,428.6	0.1	3,384,925
市52	南川線(3) <後期のみ>	高速頸城バス停入口～海洋センター前～労災病院前	0.5	2,032.8	2.1	587,479
市53	岡沢ルート(定時運行)	新井バスターミナル～中郷区総合事務所～岡沢	1.5	-	-	3,804,969
市54	関山ルート(定時運行)	新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	1.0	-	-	3,037,473
市55	東西ルート	うらがわら駅前～浦川原区・大島区～大島コミュニティプラザ前	4.0	-	-	1,366,244
前期：48系統	後期：45系統	小計		1,013,323.7		349,101,194

【バスロケーションシステム整備費用加算分】

系統番号	路線名	起点～(主な経由地)～終点	運行回数	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
-	-	-	-	-	-	-

【合計】

前期：70系統	後期：66系統	合計	運行回数	実車 走行キロ	平均乗 車密度	経常費用
		合計		1,944,673.2		662,597,508

決算書 (P138～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	交通政策課
事業名	地域公共交通運行対策費		

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金①		県補助金②		市補助金④		市補助金 ③+④	系統 番号
						国→事業者	県→事業者	県→市→事業者	市→事業者				
785,649	12,665,665	5.8%	0	0	9,818,856	0	0	0	0	9,818,000	9,818,000	市1	
1,122,974	9,983,469	10.1%	0	0	9,061,135	0	0	0	0	9,061,000	9,061,000	市2	
128,101	2,530,932	4.8%	0	0	2,530,932	0	0	0	0	2,530,000	2,530,000	市3	
280,970	3,749,206	6.9%	0	0	3,749,206	0	0	0	0	3,749,000	3,749,000	市4	
990,787	5,951,680	14.2%	0	0	4,482,390	0	0	0	0	4,482,000	4,482,000	市5	
665,039	3,708,183	15.2%	0	0	3,708,183	0	0	0	0	3,708,000	3,708,000	市6	
303,353	1,691,450	15.2%	0	0	1,691,450	0	0	0	0	1,691,000	1,691,000	市7	
805,420	6,803,494	10.5%	0	0	6,803,494	0	0	0	0	6,803,000	6,803,000	市8	
3,412,199	3,930,735	46.4%	0	0	3,930,735	0	0	0	0	3,930,000	3,930,000	市9	
420,175	1,707,407	19.7%	0	0	1,707,407	0	0	0	0	1,707,000	1,707,000	市10	
441,012	1,253,443	26.0%	0	0	1,253,443	0	0	0	0	1,253,000	1,253,000	市11	
513,183	2,228,527	18.7%	0	0	2,228,527	0	0	0	0	2,228,000	2,228,000	市12	
409,419	1,923,358	17.5%	0	0	1,923,358	0	0	0	0	1,923,000	1,923,000	市13	
4,538,147	4,889,033	48.1%	0	0	4,106,153	0	0	0	0	4,106,000	4,106,000	市14	
1,923,902	7,405,538	20.6%	0	0	6,630,775	0	0	0	0	6,630,000	6,630,000	市15	
4,001,602	6,984,530	36.4%	0	0	6,072,187	0	0	0	0	6,072,000	6,072,000	市16	
1,623,690	6,281,038	20.5%	0	0	5,624,590	0	0	0	0	5,624,000	5,624,000	市17	
2,279,464	4,481,171	33.7%	0	0	4,481,171	0	0	0	0	4,481,000	4,481,000	市18	
386,606	488,843	44.1%	0	0	488,843	0	0	0	0	488,000	488,000	市19	
1,381,940	3,796,461	26.6%	0	0	3,796,461	0	0	0	0	3,796,000	3,796,000	市20	
459,780	5,621,003	7.5%	0	0	5,621,003	0	0	0	0	5,621,000	5,621,000	市21	
472,043	5,441,657	7.9%	0	0	5,441,657	0	0	0	0	5,441,000	5,441,000	市22	
2,008,870	9,412,808	17.5%	0	0	9,412,808	0	0	0	0	4,254,000	4,254,000	市23	
3,249,655	16,695,929	16.2%	0	0	16,695,929	0	0	0	0	16,695,000	16,695,000	市24	
1,453,294	7,042,554	17.1%	0	0	7,042,554	0	0	0	0	7,042,000	7,042,000	市25	
2,612,109	7,888,365	24.8%	0	0	7,888,365	0	0	0	0	7,888,000	7,888,000	市26	
1,703,212	2,492,062	40.5%	0	0	2,492,062	0	0	0	0	2,492,000	2,492,000	市27	
1,075,715	4,744,889	18.4%	0	0	4,261,517	0	0	0	0	4,261,000	4,261,000	市28	
874,624	5,599,293	13.5%	0	0	5,061,667	0	0	0	0	5,061,000	5,061,000	市29	
484,333	3,238,565	13.0%	0	0	2,929,397	0	0	0	0	2,929,000	2,929,000	市30	
192,960	555,665	25.7%	0	0	493,496	0	0	0	0	493,000	493,000	市31	
4,597,549	16,668,313	21.6%	0	0	14,902,290	0	0	0	0	14,902,000	14,902,000	市32	
1,086,665	5,835,667	15.6%	0	0	4,370,639	0	0	0	0	4,370,000	4,370,000	市33	
2,370,617	4,956,454	32.3%	0	0	4,956,454	0	0	0	0	4,956,000	4,956,000	市34	
2,117,911	5,582,006	27.5%	0	0	5,582,006	0	0	0	0	5,582,000	5,582,000	市35	
998,598	3,129,251	24.1%	0	0	3,129,251	0	0	0	0	3,129,000	3,129,000	市36	
1,463,614	2,533,368	36.6%	0	0	2,533,368	0	0	0	0	2,533,000	2,533,000	市37	
1,197,460	3,864,946	23.6%	0	0	3,864,946	0	0	0	0	3,864,000	3,864,000	市38	
1,094,437	3,816,363	22.2%	0	0	3,816,363	0	0	0	0	3,816,000	3,816,000	市39	
5,899,768	23,222,378	20.2%	0	0	23,222,378	0	0	0	0	23,222,000	23,222,000	市40	
1,551,281	7,046,251	18.0%	0	0	7,046,251	0	0	0	0	7,046,000	7,046,000	市41	
385,628	5,138,761	6.9%	0	0	5,138,761	0	0	0	0	2,906,000	2,906,000	市42	
872,937	4,319,385	16.8%	0	0	4,319,385	0	0	0	0	4,319,000	4,319,000	市43	
436,020	2,960,121	12.8%	0	0	2,960,121	0	0	0	0	2,920,000	2,920,000	市44	
238,815	3,200,958	6.9%	0	0	3,200,958	0	0	0	0	3,200,000	3,200,000	市45	
346,266	2,472,868	12.2%	0	0	2,472,868	0	0	0	0	2,472,000	2,472,000	市46	
40,980	2,953,952	1.3%	0	0	2,953,952	0	0	0	0	2,953,000	2,953,000	市47	
902,949	7,572,015	10.6%	0	0	7,572,015	0	0	0	0	7,572,000	7,572,000	市48	
45,175	206,829	17.9%	0	0	206,829	0	0	0	0	206,000	206,000	市49	
136,459	3,469,909	3.7%	0	0	3,469,909	0	0	0	0	3,469,000	3,469,000	市50	
96,452	3,288,473	2.8%	0	0	3,288,473	0	0	0	0	3,288,000	3,288,000	市51	
274,799	312,680	46.7%	0	0	263,893	0	0	0	0	263,000	263,000	市52	
128,610	3,676,359	3.3%	0	0	1,754,883	0	0	0	0	1,209,000	1,209,000	市53	
133,080	2,904,393	4.3%	0	0	2,566,781	0	0	0	0	1,239,000	1,239,000	市54	
21,352	1,344,892	1.5%	0	0	1,344,892	0	0	0	0	1,344,000	1,344,000	市55	
67,437,649	281,663,545	19.3%	0	0	266,367,417	0	0	0	0	257,037,000	257,037,000		

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金① 国→事業者	県補助金② 県→事業者	市補助金④ 市→事業者	市補助金 ③+④	系統 番号
						0	0	0	1,257,000	1,257,000

経常収益	経常欠損	収支率	国庫補助 対象経費	県単補助 対象経費	市単補助 対象経費	国庫補助金① 国→事業者	県補助金② 県→事業者	市補助金④ 市→事業者	市補助金 ③+④	系統 番号
162,098,210	500,499,298	24.4%	58,602,000	70,383,000	471,590,271	48,103,000	10,676,000	24,321,000	371,063,000	395,384,000

(単位：千円)

決算書 (P140～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	定住促進奨学金貸付事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,185	2,009					2,009
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	176				176	

【目的】

本市に居住しながら市外の大学等に通学する学生に対し、通学費を奨学金として支援（貸付け）することにより、若者の市外転出を抑制するとともに、卒業後の地元就職に対するインセンティブを設けることで将来にわたる定住を促す。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

高校生等に対し広く制度の周知を図り、奨学金を必要とする学生を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

<上越市定住促進奨学金制度の概要>

開始年度：平成28年度

基金総額：2億円

対象者：次の要件のいずれにも該当する人

(1)上越市に居住する30歳未満の人

(2)大学、大学院、高等専門学校（専攻科を含む）又は専修学校（専門課程に限る）に在学する人

(3)主として公共交通機関（鉄道、路線バス等）を利用し、通学している人

貸付額：定期代の合計額の範囲内で、月額6万円まで

利子：無利子

貸付期間：学校の最短修業年限以内

返還期間：4年以上16年以内（貸付期間の4倍・据置期間6か月）

返還免除：返還期間中に本市に居住し、事業所等に就業している場合は、奨学金返還額の3分の2に相当する額を免除

- ・制度概要を広報上越や市ホームページに掲載するとともに、SNS（じょうえつ高校生ナビ）を活用して情報発信したほか、通学時間100分圏内の大学等や公共交通機関にチラシ・ポスターを配布した。
- ・市内高等学校を訪問し、事業のPRとあわせて、本制度に対する意見等の聞き取りを行うとともに、ポスターの掲出や高校2年生及び3年生へのチラシの個別配布を行った。

決算書 (P140～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	定住促進奨学金貸付事業		

- ・基金の適正な運用を図るとともに、市外の大学等へ通学する学生に対する奨学金の貸付けや、卒業後も市内に居住し就業している人の返還額の一部免除等を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による減収や失業等で奨学金の返還が困難となった人に対し、返還猶予により支援する体制を整えた。

○目標達成状況

高校生に対するチラシの個別配布やSNSを活用した情報発信により、制度について広く周知を図るとともに、採用申込等の申請や奨学金の請求に係る審査を速やかに行うなど、貸付け・返還業務を円滑に行うことにより、奨学金を必要とする学生を支援した。

【事業の成果】

＜利用状況の推移＞

(単位：人)

年度	貸付(A)		返還(B)				貸付残高(C)
	人数	金額	人数	金額	うち免除補填分		
					人数	金額	
令和元年度	28 (11)	5,917	25	1,411	21	743	18,942
令和2年度	32 (13)	6,480	36	2,471	29	1,428	22,951
令和3年度	27 (11)	7,740	49	3,916	39	1,989	26,775

※貸付人数の()内は新規貸付分、貸付残高(C) = 前年度貸付残高 + (A) - (B)

＜大学等卒業後の定住状況（返還開始時点）＞

(単位：人)

令和元年度		令和2年度		令和3年度		平成29年度からの累計	
返還開始者		返還開始者		返還開始者		返還開始者	
うち本市居住 かつ就業者		うち本市居住 かつ就業者		うち本市居住 かつ就業者		うち本市居住 かつ就業者	
10	9	11	7	13	12	50	40

＜貸付金残高の状況＞

令和2年度末 現在高(A)	令和3年度			令和3年度末 現在高 (A)+(B)-(C)-(D)
	貸付(B)	返還(C)	免除(D)	
22,951,496円	7,740,187円	1,928,701円	1,988,262円	26,774,720円

決算書 (P140～P141)	2款1項7目 企画費	所管課等	企画政策課
事業名	定住促進奨学金貸付事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・奨学金を必要とする人に制度の情報が届くよう、引き続き様々な方法で周知を図り、利用促進につなげる。
- ・本制度の利用実態を的確に把握し、より利用しやすい制度となるよう必要に応じて改善を図っていく。

【執行残額について】

その他：返還免除額が当初見込みを下回ったことによる定住促進奨学基金繰出金の残 176

(単位：千円)

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
82,157	79,690				647 (繰入)	79,043
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,467				2,467	

【目的】

指定管理者と連携しながら、気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動の発表の場を市民へ提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の向上を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

鑑賞事業来場者の満足度 95.0%以上

※来場者へのアンケートにおいて、公演の内容について、「良い」「どちらとも言えない」「良くない」の評価項目のうち、「良い」と評価した人の割合(鑑賞事業17事業の平均値)

○実施内容、これまでの経過等

・指定管理の状況

導入開始年度：平成17年度

指定期間：令和2年度～令和6年度

指定管理者名：株式会社 NKS コーポレーション(本社：新潟市)

・芸術文化事業の内容

(単位：人)

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	ごらく亭 第三弾	65
	NHKのど自慢	874
	新潟県音楽コンクール	125
	劇団四季「The Bridge ～歌の架け橋～」	1,014
	なまり漫才爆笑ライブ	149
	NICジャズバンド・ライブショー	39
	マイタウン・コンサート2021in中郷	143
	柳家喬太郎独演会	451
	おしりたんていミュージカル	1,008

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	清水ミチコ TALK&LIVE	771
	林家正蔵独演会	151
	スモールコンパクトパフォーマンス	
	中川英二郎、宮本貴奈	128
	名渡山遼、長谷川ガク、澤田将弘、大坂孝之介	179
	佐々木秀実、飯田俊明	94
	木村大、榊原大	143
小計 15事業	5,334	
普及事業	和太鼓(上田秀一郎)	343
	ポルトガルギター&マンドリン(湯浅隆、吉田剛士)	296
	クリスタルボウル&ゆう琴(野村節子)	283
	落語(林家はな平)	482
	リコーダーとリュート(古澤実、永田平八)	659
	打楽器アンサンブル(本間美恵子、倉澤桃子)	356
	小計 6事業	2,419
創造事業	上越真夏の音楽会	150
	小川未明フェスティバル2021秋編	167
	第3回上越市民演劇祭	231
	第3回上越マーチングバンドコンサート	374
	小計 4事業	922
育成事業	佐渡太鼓体験交流館 出張! たたこう館 at 上越文化会館	63
	上越マーチングバンド育成事業	473
	上越シニア劇団活動事業	566
	上越文化会館 勝手にエンジョイコンサート	231
	小計 4事業	1,333
合計	29事業	10,008

新型コロナウイルス感染症の影響等により、2事業の実施を中止、1事業の実施を令和4年度に延期した。

※鑑賞事業：多様な市民ニーズを捉えた質の高い芸術作品を招へいする事業

※普及事業：アーティストが町内会や小・中学校に出向いて演奏等を行うアウトリーチ事業

※創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業

※育成事業：マーチングバンドや劇団活動などを通して、市民の文化意識の向上を図ることを目的とする事業

○施設の管理実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用件数	917件	192件	-	690件
利用者数	103,152人	13,171人	150,000人	52,503人

※令和2年度は、外壁改修工事等のため、4月1日から11月13日まで休館

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	国庫支出金	-	-	-	-
	市債	4,500	386,300	-	-
	諸収入	700	291	-	647
	合計	5,200	386,591	-	647
②支出	指定管理委託料	65,900	49,304	78,440	75,982
	再算定による 増加額※1	-	-	10,232	7,774
	施設管理委託料	702	655	660	660
	設計業務委託料等	5,038	-	170	169
	施工監理委託料	-	3,937	-	-
	報償費	62	34	56	50
	費用弁償	3	-	2	1
	消耗品費	-	-	269	268
	修繕料	2,501	3,008	2,537	2,537
	運搬料	3	-	-	-
	手数料	380	-	23	23
	施設整備工事	-	425,394	-	-
	備品購入費	2,969	-	-	-
	補助金・交付金	700	291	-	-
	指定管理者営業補 填金	-	-	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金 ※2	2,333	-	-	-
合計	80,591	482,623	82,157	79,690	
③公費投入額 (②-①)	75,391	96,032	82,157	79,043	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	731	7,291	548	1,505	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	65,900
令和3年度の指定管理料 (委託料)	②	75,982
指定管理料の増減額	②-①	10,082

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等の減少に対応するため、指定管理委託料が増加したものの。

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			計画	実績	
収入	利用料金収入	13,977	3,574	18,801	11,935
	指定管理委託料	65,900	49,304	68,208	75,982
	再算定による 増加額※1	-	-	-	7,774
	補助金	7,645	491	-	※2 1,391
	新型コロナウイルス減 収補填金※3	2,333	-	-	-
	その他(入場料等)	9,324	1,907	20,019	9,135
	収入計 ①	99,179	55,276	107,028	98,443
支出 ②	106,868	57,479	107,028	98,393	
差引 (①-②)	△7,689	△2,203	0	50	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。
- ※2 文化庁「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業補助金」(補助対象事業:「劇団四季 The Bridge～歌の架け橋～」 「柳家喬太郎独演会」)
- ※3 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○目標達成状況

鑑賞事業来場者の満足度 98.6%

【事業の成果】

- ・鑑賞事業では、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象としたミュージカルやコンサート、演芸など、市民文化の高揚と豊かな感性を育むための公演を開催した。
- ・普及事業では、アーティストが小・中学校や町内会へ出向いて出張公演を行う「アウトリーチ事業」6事業を17か所で実施し、身近な場所でプロの実演を気軽に鑑賞する機会を提供した。
- ・創造事業では、本市とゆかりのある出演者による「上越真夏の音楽会」や「上越市民演劇祭」のほか、小川未明の童話作品「夏の晩方あった話」をテーマにした「小川未明フェスティバル」を開催するなど、市民とともに舞台を創り上げる事業を展開した。
- ・育成事業では、令和3年7月に設立した「上越シニア劇団」の活動が、全国公立文化施設協会による「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション」において、「地域の創造と再生に向けたものであり、地域の未来に向けた熱い思いが伝わる内容」との講評を得て入賞を果たした。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館の利用料金収入や芸術文化事業の公演チケットの販売収入が当初計画を大きく下回った。今後、来館者等を対象に実施するニーズ調査の結果等を踏まえて、芸術文化事業の企画を進めていく。
- ・建物や機械設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に改修等を進め、安全で利用しやすい環境を整える。

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

【執行残額について】

その他：年間の収支実績に基づき再算定したことによる委託料等の残 2,467

(単位：千円)

決算書 (P148～P149)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,967	5,185	500				4,685
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6,782		6,603		179	

【目的】

- 歴史資源を活用した街なか回遊の促進と賑わいの創出：市民及び市民団体等と連携し、高田地区の歴史資源である雁木や町家の魅力を発信するとともに、観光客等の街なか回遊を促進する。
- 歴史的旧家連携交流支援事業：地域資源の魅力発信に向け、市民団体が主体的に連携して取り組む事業を支援し、更なる交流人口の拡大や地域の活性化につなげる。
- 雁木整備事業補助金の交付：市民が共同で取り組む雁木整備を促進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■歴史資源を活用した街なか回遊の促進と賑わいの創出 345

○令和3年度目標

貴重な歴史資源への関心を高め、街なかの賑わい創出に寄与する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 民間や市が所有する町家の公開

街なかの回遊性の向上や賑わい創出を図るため、市民団体等と連携して「越後高田町家三昧」に取り組むとともに、見学可能な町家の情報を収集し、市ホームページで紹介した。

(2) 雁木や町家の魅力の発信

高田城址公園で開催される観桜会や観蓮会に合わせ、市民団体等と連携し、旧今井染物屋において「町家ガイド」による雁木と町家の特徴等を解説するとともに、地域の歴史や文化の魅力を発信した。

○目標達成状況

市民団体等と連携して実施する「越後高田町家三昧」の取組を通じて、高田地区の雁木と町家に関する情報を発信し、街なか回遊を促進した。

■歴史的旧家連携交流支援事業 1,000

○令和3年度目標

市内に点在する歴史的建造物等への関心を高め、活用と回遊の促進を図る。

決算書 (P148～P149)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

- ・歴史的旧家を活用する市民団体等が連携して結成した「NPO法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、サポーターズクラブの立ち上げやモニターツアーの開催、ホームページの作成など、旧家が連携して取り組む活動を支援した。
- ・歴史的旧家が取り組む環境整備事業について、補助事業の実施申請がなく、事業の実施ができなかった。

○目標達成状況

NPO法人上越名家ネットワーク（令和3年6月29日にNPO法人化）への活動支援を通じて、歴史的旧家4邸への関心を高める取組が活発に行われるとともに、歴史的建造物の活用や回遊の促進を図ることができた。

■雁木整備事業補助金の交付 2,170

○令和3年度目標

市民への経済的支援を行うことにより、雁木整備を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

指定地区における雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対して補助金を交付した。

<補助率・限度額>

- ・補助率：1/2
- ・限度額：500千円

○目標達成状況

申請のあった8件の工事に補助金を交付し、市民による雁木の整備を推進した。

<令和3年度末までの地域指定及び補助金の交付状況>

年度	地域指定		補助金交付	
	件数(件)	指定距離(m)	件数(件)	金額
平成16年度～令和2年度	25	10,543	137	56,729
令和3年度	-	-	8	2,170
合計	25	10,543	145	58,899

【事業の成果】

- ・市民団体等と連携し、見学可能な町家の情報収集を行うことにより、年間を通じて、市ホームページにおいて街なか回遊に必要な情報を発信することができた。
- ・歴史的旧家の活用に当たり、活動組織をNPO法人化したことにより、継続的に活動できる体制を整えることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、市民団体等と連携し、市内に残る雁木と町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信する取組を推進する。

決算書 (P148～P149)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響により寺町サミットの実施を見送ったことによる負担金の残 50

応募がなかったことによる歴史的旧家活用環境整備支援事業補助金の残 6,553

その他：当初見込みを下回ったことによる報酬、共済費等の残 179

(単位：千円)

決算書 (P148～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,460	3,273				120 (寄附金)	3,153
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	187			44	143	

【目的】

- 市民の文化活動推進事業：市民団体との連携や活動に対する支援を通じて、市民の自主的な文化活動の推進を図る。
- 地域の歴史・文化資源の保存と継承：地域の歴史・文化資源の保存と継承を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**■市民の文化活動推進事業 3,193**

○令和3年度目標

市域全体の文化・芸術活動の活性化や次世代への伝統文化の継承の取組を通じて、市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民の自主的な文化・芸術活動を支援するため、国・県などが行う新型コロナウイルス感染症に関連する支援事業や民間の各種助成事業について、市ホームページや文化・芸術活動団体が集う機会等を通じて情報提供を行った。

(2) 上越まるごと文化祭

市内各地で秋(9月～11月)に開催される多彩な文化・芸術の催しを紹介するリーフレット等を作成し市内外に周知するとともに、高い技術力や表現力を有する文化・芸術活動団体による上質なパフォーマンスを披露・観賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催した。また、出演団体によるワークショップ形式の意見交換を行い、活動上の課題共有と解決策の検討及び出演団体間の交流を図った。

期 日：令和3年11月14日(日)

会 場：上越文化会館 大ホール

参加者数：548人(観覧者414人、出演者14団体134人)

○目標達成状況

・「上越まるごと文化祭」として、市内各地で開催される文化・芸術活動を一体的に広く市内外に発信するとともに、「プレミアムパフォーマンス」を開催し、市民の文化・芸術活動への関心を高める取組を行った。

決算書 (P148～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民団体が主催する「久比岐能」の公演が中止となり、同公演と連携して開催している「能・狂言鑑賞教室」を実施できなかったことから、市内の中学生等に日本の伝統文化に触れる機会を提供することができなかった。

■地域の歴史・文化資源の保存と継承 80

○令和3年度目標

市民団体と連携し、地域の歴史・文化資源を広く発信する。

○実施内容、これまでの経過等

高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、旧今井染物屋において瞽女唄奏者による演奏会を開催したほか、瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーの実施を支援した。

瞽女唄演奏会

期 日：令和3年6月13日（日）

会 場：旧今井染物屋

出 演 者：月岡祐紀子氏（瞽女唄奏者）

参加者数：35人（バスツアー参加者17人を含む）

○目標達成状況

高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域固有の瞽女の歴史や文化を市民等に広く発信した。

【事業の成果】

- ・上越まるごと文化祭を実施し、市内各地で取り込まれている文化活動を広く市民に発信することができた。
- ・高田の町家である旧今井染物屋で瞽女唄演奏会を実施したことにより、高田瞽女の歴史と文化を効果的に発信することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげるため、引き続き、市内各地で取り込まれている文化・芸術活動を発信する取組を進めていく。
- ・引き続き、地域の歴史・文化資源について、市民団体と連携し、次世代へ継承・発信する取組を進めていく。

【執行残額について】

入札差金：印刷製本費 44

その他：当初見込みを下回ったことによる消耗品費、備品修繕料、私有車借上料等の残 143

(単位：千円)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,561	19,120				286 (使用料、謝収)	18,834
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,441	56		77	4,308	

【目的】

- 旧師団長官舎の管理運営：市文化財である明治期の洋風建築を適切に維持管理するとともに、更なる施設の活用を通じて、地域の賑わい創出及び文化の振興を図る。
- 高田まちかど交流館の管理運営：市文化財である昭和初期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出を図る。
- ライオン像のある館の管理運営：市文化財である明治期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出を図る。
- 旧今井染物屋等の管理運営：市文化財である江戸時代末期の町家建築を適切に維持管理するとともに、地域文化の継承と発信の拠点施設として活用する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■旧師団長官舎の管理運営 2,597

○令和3年度目標

入館者数 21,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化財の維持管理と地域文化の振興

市文化財である建物を保存するため、定期的に施設の状態を確認するとともに、建物公開を通じて地域文化を発信した。

(2) 民間事業者によるレストランとしての活用

建物公開に加え、民間事業者によるレストランとしても活用することにより、施設の魅力向上を図った。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画	実績
入館者数		5,987人	613人	21,000人	12,340人
うち 貸室利用	利用件数	82件	/	/	/
	利用人数	609人			

※令和2年1月から改修工事に向けた準備のため、貸室は休止。

※令和2年度は、改修工事のため6月から休館。

※令和3年度から、レストラン事業者が施設を活用。

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	56	-	-	-
	その他	-	74,190	-	17
	合計	56	74,190	-	17
②支出	施設維持管理費	3,925	1,179	3,576	2,597
	うち委託料	3,396	908	2,794	1,990
	その他	5,609	81,317	-	-
	合計	9,534	82,496	3,576	2,597
③公費投入額(②-①)		9,478	8,306	3,576	2,580
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		1,583	13,550	170	209

○目標達成状況

年間入館者数は12,340人となり、目標を達成することはできなかった。

■高田まちかど交流館の管理運営 6,587

○令和3年度目標

入館者数 22,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

街歩きを行う市民や観光客の見学と休憩に利用されたほか、当館及び商店街で開催される催しや観光に関するパンフレットなどを設置し、街なか回遊のための情報提供を行った。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

企業の商品展示会や商談会等の会場として活用されたほか、合唱の練習や各種コンサートなどの文化活動の場として活用された。

(3) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

太鼓や合唱、ダンスなど、市内を中心に活動する個人や団体が出演する「高田まちかどフェスティバル」を開催し、市民が気軽に音楽に触れる場を提供するとともに、街なかの賑わい創出に取り組んだ。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸館利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画	実績
入館者数		24,342人	10,940人	22,000人	14,838人
うち 貸室利用	利用件数	82件	99件		114件
	利用人数	2,131人	2,150人		2,541人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予算	実績
① 収入	使用料収入	176	181	211	269
	その他	-	-	-	-
	合計	176	181	211	269
② 支出	施設維持管理費	5,133	4,987	6,323	5,909
	うち委託料	2,178	2,393	3,717	3,579
	その他	1,755	1,507	805	678
	合計	6,888	6,494	7,128	6,587
③ 公費投入額 (②-①)		6,712	6,313	6,917	6,318
④ 利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		276	577	314	426

○目標達成状況

年間入館者数は14,838人となり、目標を達成することはできなかった。



高田まちかどフェスティバル 2021の様子



ワインの試飲会の様子

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

■ライオン像のある館の管理運営 1,998

○令和3年度目標

入館者数 5,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の活用と直江津の歴史・文化の紹介

日本遺産北前船に関するパネルの展示や講座を開催し、直江津の歴史と文化の発信を行ったほか、地域のまちづくり団体が主体となり、街歩きや^{あいもの}四十物祭り、直江津にまつわる紙芝居等が催されるなど、施設の活用が図られた。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

文化団体等が行う演奏会や作品展などの会場として利用されたほか、「なおえつ うみまちアート」の会場の一つとして作品展示やワークショップが開催されるなど、施設の利用を通じて直江津の街なかの賑わい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
入館者数		6,428人	2,962人	5,000人	7,502人
うち 貸室利用	利用件数	53件	27件	/	34件
	利用人数	4,078人	350人		5,793人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	2,340	1,824	2,334	1,998
	うち委託料	1,751	1,426	1,796	1,597
	その他	262	-	-	-
	合計	2,602	1,824	2,334	1,998
③公費投入額(②-①)		2,602	1,824	2,334	1,998
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		405	616	467	266

○目標達成状況

年間入館者数は7,502人となり、目標を達成することができた。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		



なおえつ うみまちアートの様子



北前船講座の様子

■旧今井染物屋等の管理運営 7,938

○令和3年度目標

入館者数 20,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 市文化財の維持管理

旧今井染物屋等の建物を保存するため、定期的に施設の状態を確認・把握するとともに、雪囲いの設置や撤去など適切な維持管理を行った。

(2) 地域文化の継承と発信及び施設の活用促進

- ・地域おこし協力隊を採用（令和3年6月）し、地元のバテンレース事業者の協力を得て、バテンレース技術の習得を開始するなど、技術の継承に取り組んだ。
- ・藍染めや竹細工、クラフトなど、職人や手仕事作家の活動の場として当施設が活用されたほか、手仕事文化の継承と発信を図るため、職人の熟練した技術や制作過程の実演展示を行う「職人展」を開催した。

(3) 街なかへの誘客と回遊の促進

町家交流館高田小町や高田世界館、警女ミュージアム高田などの近隣施設と連携し、バスツアーやえちごトキめき鉄道が行う雪月花のツアーなどを積極的に受け入れ、回遊の促進と地域の賑わい創出を行った。

○施設の管理実績 ※令和3年4月29日開館

・入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	
		計画	実績
入館者数		20,000人	11,230人
うち 貸室利用	利用件数	/	112件
	利用人数		2,141人

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	
		予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-
	その他	-	-
	合計	-	-
②支出	施設維持管理費	10,523	7,938
	うち委託料	2,024	1,519
	その他	-	-
	合計	10,523	7,938
③公費投入額 (②-①)		10,523	7,938
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		526	707

○目標達成状況

年間入館者数は11,230人となり、目標を達成することはできなかった。



バテンレースの体験教室の様子



藍染め体験の様子

【事業の成果】

- ・各施設の特徴をいかしたイベントや貸館利用等を通じて、地域の賑わい創出を図った。
- ・旧今井染物屋の開館により、市文化財である江戸時代末期の町家建築を公開するとともに、雪国高田の風土産業であるバテンレース技術の継承と発信を行う体制を整えることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大半の施設において入館者数が目標を達成することができなかった。
- ・市民や市民団体等と連携し、更なる誘客と街なか回遊の促進を図る。
- ・引き続き、各施設や地域の歴史・文化などの情報について、市ホームページやソーシャルメディア等を活用し、市内外に広く発信する。
- ・各施設の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

【執行残額について】

事務費節減：チラシ印刷を自前で行ったことによる高田まちかど交流館の印刷製本費、文化行政課と共同で講座を実施したことによるライオン像のある館の報償費の残 56

入札差金：施設管理委託料 77

その他：当初見込みを下回ったことによる消耗品費、燃料費、電気料金、営繕修繕料、委託料等の残 4,308

(単位：千円)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
42,684	40,782				5,380 (使用料助)	35,402
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,902		7	387	1,508	

【目的】

- 町家交流館高田小町の管理運営：郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、賑わいと活力のある地域社会の形成を図る。
- 坂口記念館の管理運営：坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。
- 小川未明文学館の管理運営：小川未明に関わる資料等の公開や各種講座等の開催を通じて、未明とその作品に対する市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本児童文学の父”小川未明を市内外に発信する。
- 小川未明文学賞の開催：小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、市内外に向けて未明及び当市の情報を発信する。
- ミューゼ雪小町の管理運営：芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、賑わいと活力ある地域社会の形成に資する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■町家交流館高田小町の管理運営 9,383

○令和3年度目標

入館者数 27,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

- ・街歩きを行う市民や観光客の休憩に利用されたほか、周辺エリアの回遊マップや各施設のパンフレット等を設置し、観光に関する情報提供を行った。
- ・高田世界館や瞽女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、街なか回遊等を行うバスツアー等の受入れを行った。

(2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

会議や集会、習い事など、交流や文化活動、憩いの場を提供した。

(3) 高田の歴史・文化の紹介

雁木と町家等の懐かしい高田ならではの街並みのほか、かつての大雪の様子を伝える写真などを展示し、高田の歴史や文化を市民や観光客等に紹介した。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
入館者数		28,777人	17,052人	27,000人	20,889人
うち 貸室利用	利用件数	1,533件	919件		1,196件
	利用人数	14,918人	7,032人		10,418人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	1,380	828	1,611	1,127
	その他	49	13,833	22	36
	合計	1,429	14,661	1,633	1,163
②支出	施設維持管理費	9,613	11,377	10,592	9,383
	うち委託料	6,967	7,547	8,505	7,605
	その他	-	14,195	-	-
	合計	9,613	25,572	10,592	9,383
③公費投入額 (②-①)		8,184	10,911	8,959	8,220
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		284	640	332	394

○目標達成状況

入館者数は20,889人となり、目標を達成することはできなかった。

■坂口記念館の管理運営 7,777

○令和3年度目標

入館者数 4,400人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

- ・「越後・謙信SAKEまつり2021」の開催に合わせ、坂口謹一郎博士の業績や人となりをも市ホームページで紹介するとともに、百年料亭 宇喜世を会場に「発酵文化の基礎を築いた先人たち」パネル展を開催した。
- ・坂口謹一郎博士の生誕日(11月17日)を含めた3日間を入館無料デーとして、博士の業績に気軽に触れる機会を提供した。

(2) 定期的な事業の開催

4月に「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」、2月から3月にかけて「ひなまつり」を開催したほか、地域の民間団体と連携し、11月に「いも煮会」を開催した。

(3) 集会、文化活動等の場の提供

新型コロナウイルス感染症の影響により、「七夕まつり」と「そばまつり」に合わせて披露する予定であった保倉川太鼓演奏が実施できなかったが、地元小学校等の校外学習の場として活用されるなど、博士の偉業を学び伝える活動に寄与した。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
入館者数		4,409人	2,208人	4,400人	3,238人
うち 貸室利用	酒杜り館入館者数	2,718人	1,628人		2,426人
	楽縫庵占用利用者数	1,691人	580人		812人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	654	461	842	706
	その他	59	-	75	57
	合計	713	461	917	763
②支出	施設維持管理費	7,588	7,706	7,973	7,777
	うち委託料	5,302	5,520	5,225	5,205
	その他	-	-	-	-
	合計	7,588	7,706	7,973	7,777
③公費投入額 (②-①)		6,875	7,245	7,056	7,014
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		1,559	3,281	1,604	2,166

○目標達成状況

入館者数は3,238人となり、目標を達成することはできなかった。

■小川未明文学館の管理運営 5,231

○令和3年度目標

入館者数 25,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 特別展の開催

名称	会期	内容	入館者数
第29回小川未明文学賞受賞記念展	4月1日(木)～ 4月25日(日)	過去の大賞・優秀賞受賞作品の紹介 や作品の講評、贈呈式の様子を展示	1,036人
超大型紙芝居「月夜 とめがね」原画展	10月9日(土)～ 12月5日(日)	1枚が90cm×130cmの原画作品を19 点展示	3,674人

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(2) 各種講座等の開催

① 文学館講座

開催日	演題	講師	入館者数
10月16日(土)	超大型紙芝居「月夜とめがね」制作の周辺	諸橋精光氏(千蔵院住職、絵本・紙芝居作家)	38人
11月7日(日)	新美南吉記念館における市民協働の成果と課題	遠山光嗣氏(新美南吉記念館館長)	28人
11月13日(土)	小川未明における〈相互扶助〉	小埜裕二氏(上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)	31人

② 童話創作講座

期 日：7月10日(土)、9月4日(土)、9月11日(土)

講 師：佐々木赫子氏(児童文学作家)

受講者数：11人

③ 朗読研修会

期 日：6月26日(土)、7月3日(土)、7月17日(土)

講 師：橋由貴氏(朗読療法士・ヴォイスアーティスト)

受講者数：30人

④ 朗読ボランティアによるおはなし会等

名称	内容	参加者数
文学館おはなし会	文学館の入館者を対象に未明童話を朗読(21回開催)	223人
出張おはなし会	市内の小学校及び放課後児童クラブを訪問し、未明童話を朗読(小学校12回、放課後児童クラブ9回開催)	882人
小川未明文学館こども祭	未明童話「赤いろうそくと人魚」をテーマにした工作やクイズ(5月8日(土)開催)	105人
未明童話の小冊子の配布	月替わりで1作品ずつ冊子にした未明童話を無償配布(随時)	649人

(3) 文学館資料の収集・調査及び活用

名称	会期	内容
特集展示1 新収蔵品展－令和2年度収集資料	4月9日(金)～ 7月14日(水)	令和2年度に収集した資料の中から、未明童話が掲載された絵雑誌等を紹介
特集展示2 「赤い蠟燭と人魚」の100年	7月16日(金)～ 10月27日(水)	代表作「赤い蠟燭と人魚」の発表当時の状況や、発表から100年の間に出版された書籍等を紹介
特集展示3 小川未明と坪内逍遙	10月29日(金)～ 1月28日(金)	師である坪内逍遙と未明の交流を紹介
特集展示4 100年前の未明小説	2月1日(火)～ 4月20日(水)	100年前(大正10年)に未明が発表した作品を、小説を中心に紹介

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(4) 文学館専門指導員の設置

文学館の事業や運営、資料収集、展覧会の企画内容などについて、小川未明研究の第一人者である小笠裕二専門指導員（上越教育大学教授）から指導や助言を受けながら、必要な資料の収集や効果的な資料展示を行った。

(5) 市民ギャラリーの貸館

・入館者数及びギャラリー貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
入館者数		29,737人	14,459人	25,000人	20,190人
うち 貸室利用	利用件数	18件	9件	/	12件
	利用人数	8,991人	4,368人		6,255人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	412	64	352	332
	その他	38	22	45	40
	合計	450	86	397	372
②支出	施設維持管理費	2,949	3,138	3,257	3,216
	うち委託料	-	-	-	-
	その他	1,956	1,631	2,341	2,015
	合計	4,905	4,769	5,598	5,231
③公費投入額 (②-①)		4,455	4,683	5,201	4,859
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		150	324	208	241

○目標達成状況

入館者数は20,190人となり、目標を達成することはできなかった。

■小川未明文学賞の開催 4,200

○令和3年度目標

小川未明文学賞応募数 500編

○実施内容、これまでの経過等

第30回小川未明文学賞

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付

<応募数>553編 (短編部門317編・長編部門236編) (うち市民からの応募6編)

<受賞作>大 賞 (1編)「カステラアパートのざらめさん」(長編部門)

作者 島村木綿子氏 (長崎県)

優秀賞 (1編)「光をつなぐ」(長編部門)

作者 中村真里子氏 (茨城県)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

<贈呈式>開催日：令和4年3月30日（水）
 会場：学研ビル（東京都品川区西五反田2丁目11番8号）
 内容：小川未明文学賞最終選考委員による講評、受賞者の挨拶



最終選考委員による講評の様子



大賞受賞者の挨拶の様子

○目標達成状況

小川未明文学賞応募数は553編となり、目標を達成した。

■ミュゼ雪小町の管理運営 14,191

○令和3年度目標

入館者数 43,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・芸術文化活動などの場の提供

美術館的仕様のギャラリーや創作活動、集会機能を持つ多目的室の貸室を行い、市民や市民団体等が開催する展覧会や個展等の会場として利用された。

○施設の管理実績

- ・入館者数及び貸室利用状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画	実績
入館者数		54,643人	25,046人	43,000人	38,624人
うち 貸室利用	利用件数	601件	417件	/	510件
	利用人数	16,751人	7,672人		9,896人

※複数日の貸室の場合は1日1件でカウント、使用場所が複数の場合は1件でカウント

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	1,913	1,794	1,847	3,025
	その他	48	52	45	57
	合計	1,961	1,846	1,892	3,082
②支出	施設維持管理費	15,730	15,527	14,258	14,191
	うち委託料	6,918	7,545	7,230	7,211
	その他	-	-	-	-
	合計	15,730	15,527	14,258	14,191
③公費投入額 (②-①)		13,769	13,681	12,366	11,109
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		252	546	288	288

○目標達成状況

入館者数は38,624人となり、目標を達成することはできなかった。

【事業の成果】

- ・各施設の入館者数は、令和2年度比では回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸室利用が低調なため、目標を達成することができなかった。
- ・坂口記念館の「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」では、人数制限など新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、酒杜り館の展示解説や発酵食品のパネル展示、発酵食品を取り入れた「つばき御膳を楽しむ会」を行い、博士の功績や「発酵のまち上越」を周知・PRすることができた。
- ・小川未明文学館では、子ども達に未明童話を知る機会を持ってもらうため、紙芝居原画の特別展やこども祭、未明童話冊子の配布、おはなし会などを行い、作品に親しんでもらうことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設利用者が安心して来館できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底する。
- ・高田小町を拠点とする街なか回遊を促進するため、引き続き、高田世界館や警女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、地域の歴史資源の魅力を発信する。
- ・「日本児童文学の父」小川未明や「発酵の父」坂口謹一郎博士に関する資料等の公開や各種講座等の開催を通じて、郷土の偉人に対する市民の関心を高めるとともに、顕彰活動に取り組む市民団体等と連携し、偉業等を市内外に発信し、認知度を高める。

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したことによる食糧費の残 7

入札差金：印刷製本費、使用料及び賃借料、委託料 387

その他：当初見込みを下回ったことによる旅費、光熱水費、営繕修繕料、施設管理委託料等の残 1,508

(単位：千円)

決算書 (P152～P153)	2款1項23目 政策研究所費	所管課等	上越市創造行政研究所
事業名	調査・研究費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,040	4,817					4,817
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,223	511	659	33	20	

【目的】

調査研究等を通じて市政における重要課題の解決や理想像の構築に寄与し、地方自治体としての政策形成能力の向上を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・これまでの調査研究において蓄積してきた人口等の統計データや地域資源情報など、政策形成に必要とされる基礎データについて、調査研究事業の基礎資料として継続的な維持・更新及び活用を行う。
- ・市内の総合的かつ中長期的な視点に基づく政策立案を支援するため、市内関係課と連携した調査研究を行う。
- ・地域全体の政策形成能力向上のため、地域の有識者や研究機関との研究ネットワークを構築するとともに、研究成果を用いて地域へ直接的に働きかける研究交流を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 調査研究

- ① 政策形成に必要な基礎的情報(人口等)のデータベース化
すでに保有する人口等の統計データを更新し、市内内外への情報提供により、データを活用した地域学習や政策立案を支援した。
- ② 域学連携・広域連携による地域資源情報のデータベース化
過年度に調査した地域資源に関する情報について、信越県境地域づくり交流会や上越教育大学等の協力を得てデータベース化を行うとともに、市内教育機関との研究ネットワーク構築に向けた情報発信を行った。
- ③ 環境・経済・社会の統合による持続可能な地域づくりに関する基礎調査
市内勉強会の開催等を通じて基礎的情報の収集を行ったほか、SDGsを活用したまちづくりに向けた論点整理を行った。

決算書 (P152～P153)	2款1項23目 政策研究所費	所管課等	上越市創造行政研究所
事業名	調査・研究費		

(2) 研究交流・情報発信

- ① 信越県境地域づくり交流会による勉強会の開催
令和2年度に引き続き、信越県境エリアの魅力を探るトークイベントの企画運営を関係機関との広域・異業種連携によって行い、オンラインによる勉強会を9回開催した。
- ② 庁内勉強会やフォーラムの開催
SDGsをテーマとし、庁内勉強会（まちづくり職員トーク等）を8回開催したほか、上越教育大学教科内容先端研究センターとの共催によるフォーラムを開催した。
- ③ 市内教育機関や市民団体等への学習支援
市内の教育機関や市民団体等の依頼により、人口動態や地域資源などに関する話題提供を行った。
- ④ ニュースレターの発行
調査研究の一部を紹介するほか、当市のまちづくりを考える上で共有すべき課題等を発信するため、ニュースレター「創造行政」を2回作成した。
- ⑤ 学会等での研究成果発表等の実施
国内の研究機関との研究ノウハウ共有や研究ネットワーク強化を推進するため、学会や地域政策に係るフォーラムにおいて研究成果を発表した。

○目標達成状況

- ・人口等の統計データや地域資源情報について、継続的な調査活動によって維持・更新を行ったほか、情報提供や勉強会の開催によって活用を促進した。
- ・持続可能な地域づくりに関する基礎調査については、庁内勉強会の開催等を通じて関係課職員との課題共有を進めた。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和2年度に引き続き調査研究や研究交流にオンラインの手法を取り入れるとともに、対面による講演活動等により研究ネットワークの維持・拡充を図った。

【事業の成果】

各種調査研究や研究交流・情報発信を通じて、地方自治体としての政策形成能力の向上に貢献した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和2年度に引き続き、調査研究や研究交流の一部について実施を見合わせる事となった。
- ・上記を一因として調査研究の進捗に遅れが生じ、ニュースレターの発行が1回減となった。
- ・過年度調査研究の継承・発展や新たな調査研究の推進力を高めるため、調査研究能力やコーディネート能力の一層の強化とともに、これまでの教育研究機関との研究交流実績をいかし、更なる研究ネットワークの強化を図る必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：会議・勉強会のオンライン開催や助成金の活用による費用弁償等の減 511
 事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響による事業内容の見直し等 659
 入札差金：ニュースレター印刷製本 33
 その他：事業実績による不用額 20

(単位：千円)

決算書 (P160～P161)	2款1項29目 鉄道駅舎等管理費	所管課等	交通政策課
事業名	鉄道駅舎等管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,750	8,499				364 (財源収入、譲収入)	8,135
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	251		15	75	161	

【目的】

市が所有するほくほく線及び信越本線の駅待合所等関連施設の適切な維持管理等を通じ、鉄道利用者の安全確保及び利便性向上を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

駅待合所等関連施設の清掃、周辺の草刈り及び修繕等の維持管理を行った。

路線名	区名	駅名	決算額	主な経費
ほくほく線	浦川原区	うらがわら駅 虫川大杉駅	4,007	電気料金 734 営繕修繕料 832 (うらがわら駅駐車場ポールライト交換修繕等) 施設管理委託料 2,284
	大島区	ほくほく大島駅	2,123	電気料金 804 営繕修繕料 116 (ほくほく大島駅待合所1階ホール照明LED化修繕等) 施設管理委託料 1,078
	頸城区	くびき駅 大池いこいの森駅	1,854	電気料金 341 営繕修繕料 454 (くびき駅引戸取替修繕等) 施設管理委託料 916
信越本線	大潟区	犀潟駅 土底浜駅	515	報償金 203 電気料金 64 施設管理委託料 177

決算書 (P160～P161)	2款1項29目 鉄道駅舎等管理費	所管課等	交通政策課
事業名	鉄道駅舎等管理運営費		

【事業の成果】

施設の安全性及び利便性を確保し、快適に鉄道を利用していただくことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

平成9年に開業したほくほく線は、駅待合所等の老朽化が進んできていることから、引き続き、適切に維持管理を行うとともに、計画的に設備更新・修繕を進めていく。

【執行残額について】

事業未実施：小雪による虫川大杉駅の除雪作業員報酬及び費用弁償の残 15

入札差金：ほくほく大島駅清掃業務委託料 75

その他：当初見込みを下回ったことによる電気料金等の残 161

(単位：千円)

決算書 (P170～P171)	2款5項1目 統計調査総務費	所管課等	企画政策課
事業名	統計調査総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
411	381		123			258
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	30					30

【目的】

誰もが必要な統計情報が得られる環境を整備する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

統計要覧の発行を始め、最新の各種統計情報を市民等の利用者に分かりやすく、かつ、利用しやすく提供する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・当市の人口、経済、社会等の幅広い分野の最新データを収集し、令和4年版上越市統計要覧及び主要データのグラフを集約した概要版を発行し、市ホームページで公表した。
- ・国が公表した調査結果のうち、当市に関するデータをホームページに適時掲載した。

○目標達成状況

統計要覧及び概要版を計画どおり発行したほか、最新の統計情報をホームページ上に掲載し、市民等に対して、分かりやすく、かつ適時に提供することができた。

【事業の成果】

最新の各種統計調査結果を統計要覧やホームページに掲載することで、利用者が必要な情報入手、活用できる環境を整えることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も各種統計調査を適切に実施し、適時にデータを提供していく。

【執行残額について】

その他：当初見込みを下回ったことによる複写機使用料の残ほか 30

(単位：千円)

決算書 (P170～P173)	2款5項2目 統計調査費	所管課等	企画政策課
事業名	学校基本調査費ほか		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,125	10,455		10,455			
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,670				1,670	

【目的】

- 各種統計調査等：経済センサスを始めとする各種統計調査を正確かつ円滑に実施する。
- 統計調査員確保対策事業：各種統計調査を円滑に行うため登録統計調査員を確保するとともに、調査員の資質向上を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■各種統計調査等

○令和3年度目標

経済センサスを始めとした各種調査事務を適正な時期に適切な手順で正確に実施する。

○実施内容、これまでの経過等

・各種統計調査の概要

調査名称	区分	対象	概要
学校基本調査	調査実施	幼稚園、小学校、中学校、高等学校等	児童・生徒数や教職員数等の学校に関する調査
経済センサス-活動調査	調査実施	事業所・企業	事業所・企業等を対象にした従業者数、主な業務の内容、売上(収入)金額、経費等の調査
経済センサス調査区設定	事前準備	—	経済センサスの調査区の修正

○目標達成状況

各種統計調査を所定の審査手順や作業工程に基づき、円滑に進め、正確に実施することができた。

決算書 (P170～P173)	2款5項2目 統計調査費	所管課等	企画政策課
事業名	学校基本調査費ほか		

■統計調査員確保対策事業

○令和3年度目標

- ・各種統計調査に必要な調査員数を確実に確保する。
- ・個人情報保護に対する意識の醸成や調査客体に対する接遇マナーの徹底など、調査員の資質向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・新規登録者を広報上越や市ホームページで募集したほか、退職する市職員やシルバー人材センターへの案内を行った。
- ・調査前に実施する事務説明会の場において、個人情報の取扱いに関する注意点や、調査の際の接遇マナー等の周知徹底を図った。

○目標達成状況

- ・新規登録者の募集案内により、調査員の確保が図られた。
- ・各種統計調査の事務説明会や調査中の指導・助言等を通じて、調査員の資質向上を図ることができた。

<登録統計調査員の状況>

年度	新規登録者数	登録辞退者数	登録調査員数 (年度末時点)
令和2年度	25人	41人	155人
令和3年度	30人	29人	156人
増減	5人	△12人	1人

【事業の成果】

- ・経済センサス活動調査では、全対象事業所への事前依頼はがきの送付や、商工会議所への広報の協力依頼等を行い、調査を効率的に行うことができたほか、その他の各種統計調査についても円滑に実施することができた。
- ・統計調査員確保対策事業では、高齢化を理由とした辞退等があったものの、多くの新規登録者を確保し、調査に必要な人員を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・登録統計調査員の高齢化等により登録辞退者が毎年一定数いるため、新たな募集方法等を通じて新規登録者の確保に努める。
- ・調査員に様々な調査事務を経験してもらうとともに、研修方法を工夫して行うことで、調査員の資質向上を図る。

【執行残額について】

その他：各統計調査交付金の決定額が予算現額を下回ったことによる指導員・調査員報酬等の残
1,670